

全校集会

- 皆さん、おはようございます。今日の朝礼では、「人権週間」と「障害者週間」についてお話ししたいと思います。
- 毎年12月は、世界中で人権について考える期間が設けられています。人権とは、「すべての人が、生まれながらに持つ大切な権利」です。
- 国籍や性別、年齢、障がいの有る無し、考え方や感じ方の違いに関わらず、誰もが大切にされ、安心して生活するためのものです。
- しかし、日常をふり返ると、知らない内に誰かを傷つけてしまっていることがあります。悪気がなくても、見た目や得意・不得意だけで人を判断してしまうことや、「いじり」や「からかいい」などの行動が、相手にとっては大きな痛みとなることもあります。
- また、今週は「障害者週間」でもあります。障がいと言っても、その内容は様々です。身体の動きに不自由がある人、耳が聞こえにくい人、目が見えにくい人、学習やコミュニケーションに困難を抱える人など、本当に多様です。
- 本来、大切なことは、「障がいがあるから困っている」のではなく、「周りの環境や理解が整っていないから困ることが生まれる」ということです。
- 例えば、階段しかなければ車いすの人は通れませんが、スロープがあれば、誰もが通れます。同じように、言い方を少し変えたり、手助けを申し出したり、相手のペースを尊重したりするだけで、困り感は減少します。
- 『人権』や『障害』の理解は、特別なことをするというより、相手を一人の人として尊重し、想像力を持つことから始まります。私たち一人ひとりの小さな行動が、安心して過ごせる環境につながってきます。
- どうか皆さん、「この言葉は相手を傷つけないだろうか」「困っている人に、今、何ができるだろうか」そんなことを少しだけ立ち止まって考える習慣を持ってほしいと思います。
- 皆さんの優しさと想像力が、昭和中学校をもっと居心地の良い場所に変えていきます。この集会をきっかけに、ぜひ身のまわりの『人権』について一緒に考えていきましょう。以上で私の話を終わります。